

議会 Assembly

菅原 義幸

せたな町議会議長

新年明けましておめでとう
ございます。

「光陰矢のごとし」と申しま
すが、早いもので、新町になっ
てから五回目の新春を迎えま
した。この一年が、町民の皆様
にとりまして良い年であり、新
町のさらなる発展の年になり
ますよう心から祈念いたしま
す。

昨年は、戦後初めて野党が衆
院選で単独過半数を獲得し、3
党連立による政権交代が実現
した歴史的な年でした。一方、
町長選挙は無競争となり、現町
長が2期目を迎えることにな
りました。

新町の財政は、スタート時点
で212億円もの借金を抱え
ておりました。町は平成18年
7月、事実をありのままに公表
すると同時に、「財政非常事態
宣言」を発しました。巨額の借

金は、新町建設の障害となった
だけではなく、一部の行政サー
ビスが合併前の水準を維持で
きなかった、最大の要因になり
ました。今後の財政運営の貴
重な教訓として、この経験を今
後に生かす必要があります。

幸いにして、昨年2度にわた
る国の大型補正により、当町に
は九億円の予算が交付され、い
くつもの懸案を解決すること
ができました。しかし、「のど
の渴きを何とか凌いただけで
あり、問題は今年だ」という声
も耳に入ります。行政の責任
だけではなく、議会の責任を痛
切に感じます。

議会活動についていえば、昨
年は一年間で24回の全員協議
会を開催し、議会運営は勿論の
こと、国の臨時交付金の使途や
一連の重要案件について必要
な情報交換を行い、相互の意思
疎通を図りました。さらに12
月の定例会において、11名の議

員が16間の一般質問を行い、今
後の町政の在り方などをめ
ぐって、2日間にわたる熱のこ
もった議論を展開しました。
これらの事実は、歩みは遅くと
も、着実に議会改革が進んでい
ることを示すものです。

本年も、さらに努力を重ねる
決意を固めておりますので、こ
れまでと同様に、議会に対する
率直なご意見をお寄せ下さい
ますようお願い申し上げます。
新年のご挨拶といたしま
す。



教育 Education

高野 利廣

せたな町教育委員会教育長

新年あけましておめでとうございます。年頭に当たり謹んでご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃から、本町教育の振興に多大なご支援、ご理解を賜っておりますことに対しまして、心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、教育をめぐる情勢では、小・中学校において新学習指導要領の先行実施をはじめとして改正教育基本法など一連の教育改革の趣旨を踏まえた指導内容の充実や授業時間数の増加への着実な対応が要請されています。

また、先ごろ公表された21年度全国学力・学習状況調査結果を受け、本道の課題である基礎・基本の定着や学習・生活習慣の確立に向けた取り組みが求められています。また、町教育委員会としても昨年七月に「せたな町学力向上プラン」を策定し、教育委員会、学校における具体的な取り組み事項や家庭との連携について明示し、知識のみならず心豊かでたくましく生きていく人材育成を志向することといたしました。

本町教育について顧みますと、21世紀を担う人材育成や生涯学習の一層の充実を目指した「第一次せたな町教育推進計画」（平成22年度から5年間）を策定しましたが、今後の学校教育、社会教育の活動指針として活用してまいります。

昨年度スタートしました「学校支援地域本部事業」も、多くの諸団体、町民各位のご理解、ご支援を頂いて推進されており、今後の拡充、発展を期してまいります。

施設整備につきましては、北檜山小学校グラウンド造成一連工事も完了し、周辺環境整備や効果的な活用に努めます。その他、B&G海洋センター艇庫の一部改修、町民体育館アリーナ暖房設備、大成図書館、郷土館の屋根改修、真駒内球場グラウンド改修を行いました。また、安全・安心な教育環境づくりのため学校施設の耐震診断の調査結果を受け、今後は順次整備を進めてまいります。

本町においても少子化が進むなか、道教委の高校配置計画が示されていますが、瀬棚商業高校に

ついては22年度入学希望者の減少や檜山北部の高校間口規模等の在り方について保護者との懇談や関係機関との調整を重ねてまいりましたが、最終的に町教育委員会として23年度募集停止という苦渋の決断に至った次第であります。

社会教育の分野では、各区での文化祭をはじめとして特色ある事業が効果的に進められており、3区の町民が一堂に会した合同事業も円滑に推進されていることは喜ばしい限りであります。本年度の大きな事業として「文化講演会」の開催を予定していますのでご期待ください。

今般、策定した新しい教育推進計画に則り、ふれ合いと交流を深め、心豊かに生活できる生涯学習の町づくりに鋭意努めてまいります。

町民の皆様におかれましては、旧来に増しますご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方にとりまして幸多き年になることを心からお祈りし、年頭のご挨拶といたします。

